

クラス	TU316A	担当教員	西島 千尋
テーマ	音楽から考える人間・教育・福祉		
著書・論文	「日本音楽療法史におけるミュージック・ケアの位置づけとその特性」 （『日本福祉大学社会福祉論集』136、pp. 101-125）		
研究課題等	「ミュージック・ケアのフィールドワークから考える音楽療法の意義 —QOCL（クオリティ・オブ・コミュニティ・ライフ）」（『日本福祉大学社会福祉論集』138、pp. 91-116） 「ミュージック・ケアの事例から考える音楽療法における「たのしさ」の意味 —重度身体障害者を対象としたセッションのフィールドワークをもとに」 （『日本福祉大学社会福祉論集』140、pp. 39-66）		
ゼミナール概要			
キーワード：音楽療法、音楽教育			
目的、内容、方法、授業計画等：			
【目的】 音楽療法研究を入口とし、音楽と人とのかかわりを考えることを目的としたいと思います。			
【主な内容・方法】 ＊音楽療法に関連した研究分野の 文献をもとに話し合う …音楽教育（特に特別支援）に取り入れられる音楽療法 …音楽人類学から考える人間と音楽のかかわり …脳科学や進化論からみた人間と音楽のかかわり …「ケア」をめぐる人類学的・社会的な研究 など ＊実際の <u>音楽療法セッションをみる</u> …西島がこれまで録画したセッション記録をみる …実際のセッションを見学する …公開講座等に参加する など ＊日本音楽療法学会の学会誌から <u>ケーススタディを考える</u> …発達障害児が対象のセッション …肢体不自由児が対象のセッション …高齢者が対象セッション など ＊音楽療法の手法の <u>展開を考える</u> …学校教育現場における導入のあり方 …子育て支援における導入のあり方 など			
担当教員からのメッセージ			
専門は音楽教育ですが、これまで「人間にとって音楽って何なんだろう」という疑問のもとにさまざまな音楽文化の研究に携わってきました。近代的・西洋的な音楽教育の枠組みのなかでは「楽譜が読めないと音楽ができない」「ピアノが弾けないと音楽は教えられる」と思っていますがそれは音楽の本質ではなく、もっとさまざまなあり方があって良いはずだと考えつづけてきました。そのようななか行き着いたのが音楽療法で、約5年から音楽療法の調査研究に取り組んでいます。主に障害児・者の方や認知症の高齢者の方が対象の音楽療法セッションを見学させていただいたり、音楽療法を実践されている方にインタビューをさせていただいたりしていますが、そこで繰り広げられる音楽と人間のかかわりにはいつも魅了されます。私もまだ勉強の途中なのでこうした関心を共有し、一緒に学んでくださる方を募集したいと思います。			